I. 平成30年度の取組みの実績

グループ名称	しずおか暮らしUPプロジェクト						
H30採択グループ番号	07	_	0326	_	0412		

Α	H30年度	にゲル	レープと	て 力を	入才	た取組み
---	-------	-----	------	------	----	------

グループとして30年度に最も力を入れたのは、「住まい手の方々にとって家族や健康を育む家をご提供する事」の実現に向けて、優良な地域産材を使って加工、設計、施工までの一連の流れが円滑にできるように、構成員の研修会や未経験工務店の提案・申請のサポートを行いました。また安心してお住まいいただくために、チームで取り組む継続的なメンテナンスを約束した長期優良住宅を提供することに力を入れて取り組んでまいりました。

B 各種説明会・研修会の実施について

1	事業実施	拖説明会	有	開催日	2018/08/10	名称	グリーン化説明会					
事業	事 グループの1430年度の取り組み内容・方向性・中語方法・1430年度との違いについて説明を行い、質経広答で終了しました											
	消費者記	说明会 1	無	開催日		名称						
② 消	内容	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·										
費者	消費者説明会 2			開催日		名称						
	内容											
	工務店研	开修会 1	無	開催日		名称	タイプ					
3	工務店研	开修会 2		開催日		名称	タイプ					
工 務	工務店研	开修会 3		開催日		名称	タイプ					
店	工務店研	开修会 4		開催日		名称	タイプ					
	工務店研	研修会 5		開催日		名称	タイプ					

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取	サポート	の有無 1	有		
組み①	内容	事務局内にサァ いを説明し、技	ポート体制を構成 術的なサポート	成し、未経験工務店の提案・申請のサポートを行いました。通常の住宅とグリーン化事業の住宅 を行う体制を作りました。	どの違
	サポート	の有無 2			
取組み②	内容				
取	サポート	の有無 3			
取 組 み ③	内容				

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済		発行予定	
② 住宅履歴情報の保管先		機関名		

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工) 施工構成員の廃業に対する体制 無	
内容		
② H30	 年度における施工構成員の廃業	無
対応 内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化	とに対する取組 ①	有							
内容	グループ構成員に対して省エネ講習会への受講を推奨しました。 特に施工グループには、施工現場に係わる事業者の受講を依頼し、グループ内の住宅省エネ化に向け取組みを強化しました。								
省エネ化	省エネ化に対する取組 ②								
内容	内容								
BELSI	BELS工務店の登録数 2 社								

I. 平成31年度の取組みの計画

グループ名称	しずおか暮らしUPプロジェクト						
H30採択グループ番号	07	_	0326	_	0412		

(1)グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画							30採択グ	ループ番	号	0	7 -	_	0326	_	0412
A 各種説明会・研修会の実施について															
	1	事業実施	拖説明会	有	開催日	2019/07	7/29	名称	H31仕様説F	明会					
	<u> </u>														

(1)	事業実施	拖説明会	有	開催日	2019/07/29	名称	H31仕様説明会		
事 常 内容 今年度の取り組みに関して、共通ルール・研修会の また状況に応じて、実績報告等の説明会について記				ル・研修会の実 会について計画	施計画・ iします。	申請方法・H30年度との違いについて説明会を	生実施しる	きす 。	
	消費者記	说明会 1	有	開催日	2019/10/21	名称	家族と健康を育む家見学会		
② 消	内容 各構成員のお客様や地域の消費者の方を対象に家族と健康を育む家の完成見学会を行います。								
費者	費 消費者説明会 2			開催日		名称			
	内容								
	工務店研	开修会 1	有	開催日	2019/08/19	名称	長期設計研修会	タイプ	座学
3	工務店研	开修会 2	有	開催日	2019/08/26	名称	ゼロ・エネ設計研修会	タイプ	座学
務	工務店研	开修会 3	有	開催日	2019/10/21	名称	家族と健康を育む家見学会	タイプ	見学会
店	工務店研	开修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店	开修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

_											
	サポート	の有無 1	有								
取組み①	内容	を説明し、技術的なサポートを行う体制を今年度も継続して実施します。									
	サポート	の有無 2									
取組み②	内容										
	サポート	の有無 3									
取組み③	内容										

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先 情報サービス機関 機関名 住宅履歴情報サービス機関

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制 有

内容 住宅履歴情報サービス機関の情報に基づき、事務局が代行履行できる構成員を斡旋します。

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化	とに対する取組み (新築)	有					
内容	容 今年度実施される省エネ化に向けた研修会に関して受講を推奨します。						
省エネ化	省エネ化に対する取組み(改修) 有						
内容	内容 既存住宅を対象に、住宅の省エネ化に向けた提案訪問を行うためのチラシを作成し、各戸に提案を行います。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画	研修計画 ①		実施日	2019/09/23				
内容	省エネ改修型に関する内容が公開されたのちグループとして率先して取り組む事業者を対象に研修会を実施します。							
研修計画	a 2		実施日					
内容								

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2)地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	しずおか暮らしUPプロジェクト				
H30採択グループ番号	07	_	0326	_	0412

A 提案する地域型住宅の特徴

私たちが目指すのは、「家族と健康を育む家をご提供する事」にあります。そのためには、優良な地域産材を使った地域風土に調和する家づくりと、住まい手に安心してお住まいいただくために、チームで取り組む継続的なメンテナンスを約束した長期優良住宅を提供することにあります。

また近年問題となっている地球温暖化への影響を防ぐため、ゼロ・エネルギー住宅にも力を入れて取り組んでいきます。

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの	①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合				50%以上	•	80%以上		
①-2 地域材の値	①-2 地域材の使用部位			② 地域材の利用に関する補足説明					
	土台	有							
主要構造材	柱	有							
	梁・桁等の横架材等	有	特になし						
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無	付になし						
造作材	枠材、廻縁等	無							
板材	壁板、床板等	無							

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域	材の調達の共同化に向けた取組み	有						
内容	直近3年の地域材需要実績に基づく1棟あたりの平均需要予測を算出し、グループとして必要数在庫として押さえます。							
② 建材	・特定資材の調達の共同化に向けた取組み	有						
内容	容 キッチン・UB・洗面・トイレなどの住設機器やサッシ、内装建材のメーカーを特定し、コスト削減に取り組みます。							
③ 地域	材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有						
内容	事務局が木材流通と協力して在庫把握を行い、 需要変化の多い国産材について予測を施工構成員に通知します。							
④ 施工	に関する統一ルール	有						
内容	省エネルギー技術講習会の施工講習の受講を推進し、施工技術の共通化を図ります。							
⑤ 住宅	のメンテナンスに関する統一ルール	有						
内容	容 維持管理計画表を作成し、引き渡し時に内容説明を行い提出します。 定期点検時期を事務局が把握し、関係者に発信します。							
⑥ 施工	検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有						
内容	 							
⑦ 見積	りに関する統一ルール	有						
内容	建築主に対して一式見積もりではなく、木拾い表や商品明細見積もりを添付しています。							
8 その	他の共通ルール	無						
内容								

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	基本的に構成員の事務所では週休2日を採用し、無理のない工程を心掛けています。
② 技能や経験にふさわしい 処遇の実現に向けた取組	有	内容	従業員の技能レベルをチェックし、処遇はレベルに基づきなされるようにしています。
③ 社会保険への加入	有	内容	安全衛生関係書類等により、社会保険加入状況を把握、指導しています。
④ 建設工事従事者の安全及び 健康の確保のための取組	有	内容	定期健康診断の実施、推奨をしています。

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3)地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	しずおか暮らしUPプロジェクト				
H30採択グループ番号	07	_	0326	_	0412

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	1住戸に対して最低1部屋の和室、あるいは畳コーナーの提案を推奨します。				
② 和瓦の活用	有	内容	和風住宅や数寄屋住宅の良さを発信し、和瓦の提案を推奨します。				
③ 襖・障子の活用	有	内容	地域の建具事業者を構成員として迎え、障子の活用と共に、省エネ性能を上げる工夫を行います。				
④ 地域の伝統的 素材の活用	有	内容	地域の伝統的な素材として竹の活用に向けて、竹細工の手法を参考に造作家具などの提案を推奨します。				

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的な デザインの継承	有	内容	地域の有識者・施工事業者間で意見交換し、地域の伝統的なデザインの取り込みに関する勉強会を 実施します。
② 地域の住まい方 の継承	有	内容	住まいのみならず、より幸せな暮らしの為に、「食」という観点からの健康をテーマに食生活改善セミナーを構成員へ実施します。
③ 地域の街並み形成 への配慮	有	内容	家・庭一体の住まい作りを推奨することで、地域の緑化の貢献を図ります。

C 被災地の復興に資する取組み

①東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み

被災地域で製造されている資材を積極的に活用する様に促します。 また被災地の取組みを事務局を通じて構成員へ紹介し、構成員各事務所内で来客者等へ紹介して広げていきます。

②地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み

地震の発生確率が高い中、地域の住産業団体と連携した災害時の対応内容について協議・取り決めを検討しています。 また、大規模台風等の自然災害発生時には、各社手分けして早急に被害調査をし、補修計画の提案も行う事にしています。